



平成14年 2002. 8. 18

三鷹市教育委員会 0422-45-1151
総務課(3213)・施設課(3223)・学務課(3233)
指導室(3247)・生涯学習課(3313)・スポーツ振興課(3323)
社会教育会館(49-2521)・図書館(43-9151) ()内は内線番号

MITAKA Education Board **みたかの教育**

紙面から **2面** 市民体育祭 **3面** スポーツフェスティバル **4面** 学校紹介

学校は地域の遊び場、学びの場

土曜日校庭遊び場開放事業

完全学校週5日制が4月に実施され4カ月が過ぎました。学校が平日だけでなく土、日曜日にも子どもたちの「学びの場」「遊びの場」となるよう、教育委員会では、学校図書館開放、校庭の遊び場開放、体育施設の開放等を実施してきました。

また、地域では、青少年対策地区委員会、子ども会をはじめ、さまざまな団体により、特色ある活動が行われてきました。子どもたちが「生きる力」を育めるよう、各種団体や教育委員会の事業が実施されましたが、これからの主な取り組み状況を紹介いたします。

〔学期は9月7日から〕

土曜日の午前は学校図書館へどうぞ

市では、魅力ある学校図書館への拡充、司書の配置など、小中学校の図書館整備を進めてきました。平成7年度から始まった整備事業は、今年度末には22校すべて完了予定となります。

学習情報センター・読書センター機能を持つ学校図書館は、学校教育に欠かせない施設であるとともに、地域のみならずに開放し、地域の「知的ひろば」となるようその活用を図っています。



学校図書館の地域開放は平成11年度に始まり、14年度学校週5日制の完全実施に伴い、6月から新たに8

校がスタートし、計11校で実施されています。

今年度の土曜日遊び場開放事業は、毎週土曜日の午前中すべての小学校の校庭を遊び場として開放し、全小学校に配置された教育活動補助員が遊び場指導者として活動するなど、新しい試みを加え実施の予定です。

6月の学校図書館の地域開放は、約100人の利用がありました。小学校では、家族で訪れて学齢前のお子さんなどに絵本を読み聞かせたり、友だちとコンピュータで本探しをしたり、賑やかな風景が繰り返されていました。

校庭開放への参加者は、各校平均30人から40人ほどで、野球、サッカー、バスケットボール、ソフトボール、水泳、水遊び、お祭りなどが行われていました。

各小学校図書館では、現在インターネットで市立図書館の蔵書の検索ができますが、今後、市では、学校図書館で市立図書館の図書資料が借りられるシステムへの導入、学校図書館と市立図書館の連携に向けて取り組んでいます。

「現在地域開放している学校」第三小・大沢台小・高山小・南浦小・中原小・井口小・東台小・第一・第三・第四・第六・第六中

学校図書館の地域開放は、保護者や地域のみならずのご協力により、地域の生涯学習の拠点として、児童・生徒をはじめ地域のみならずが

「開放内容」図書の閲覧、貸出・読書相談・蔵書の検索、インターネットによる市立図書館等の資料検索・おはなし会の実施など

ポスター展示等、特にインターネット・イントラネット活用による授業の改善、充実は今や全国的に注目される存在となり、各学校で授業の一層の質的向上を自覚しています。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

なお、障害児教育充実にも力を注ぎ、七のぼり学級、高山小のわか竹学級を開設。就学相談・教育相談の充実、スクールカウンセラーの委区域配置など現代社会が子どもを抱えている様々の深刻な問題に処する努力をしています。

「教育活動補助員」の活動状況
市では、今年度から市内全小学校に教育活動補助員を配置しています。これは、国の緊急地域雇用創出特別補助事業の対象事業であり、各学校での教育活動の他、放課後や土曜日の校庭開放で遊びの指導を行っています。

21世紀を迎える教育の大改革が学校週5日制完全実施とともにスタートしました。折しも地方分権制度の発足とともに、自治体の自己責任が本格的に問われる時代となり、「三鷹の教育の創造」が求められています。

乳幼児から高齢者までのすべての市民の心の豊かさ、創造性、いきいきとした生きがいを支える教育・学習を築き上げていくことこそ、当教育委員会の責務と考えています。

近年、社会情勢の急激な変化にともない、子育ての環境が大きく変わりました。少子化・核家族化の進行による子育ての課題が顕出

三鷹の教育の創造をめざして

三鷹市教育委員長 山田 信子



また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

「教育活動補助員」の活動状況
市では、今年度から市内全小学校に教育活動補助員を配置しています。これは、国の緊急地域雇用創出特別補助事業の対象事業であり、各学校での教育活動の他、放課後や土曜日の校庭開放で遊びの指導を行っています。

充実したものにしていく所存です。今、世界の国々で教育のあり方が見直されている中で三鷹の教育の創造を求め努力いたします。

特に、土曜日の午前中は、教育活動補助員がそれぞれの学校の校庭で子どもたちに積極的な声をかけ、サッカーやトドシボールなどの遊びの輪を広げるなど活動しています。

新たに狩野葉子氏が教育委員会委員に就任

平成14年5月26日、新たに狩野葉子氏が三鷹市教育委員会委員に就任しました。任期は4年間で、【略歴】昭和52年、杏林大学医学部卒業。平成12年の杏林大学医学部助教。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。

また、総合的な学習の場として、地域・家庭・各種の機関・企業等の幅広い協力を得て児童・生徒の個性・創造性・思考力を伸ばし、健康で豊かな心・国際性等を育み「生きる力」の育成を自覚しています。